

# ココサポだより

6月は「父の日前日 & 札幌まつり」  
お父さんの好きなこと de 交流会!

## ほっとcafé

「ほっとカフェ」は、皆さまのリクエストによって「集まるテーマ」を決めて開催、話したかったこと、聞きたかったことを気兼ねなく持ち寄って「ほっとする」場所です。「〇〇の人と会いたい」「同郷の方と情報交換がしたい」など、どんなリクエストでも、お気軽にお知らせください。

今年も北海道の初夏の風物詩、北海道神宮例大祭(札幌まつり)が6月14日(土)から16日(月)に行われます。

神輿行列のほか神宮境内や中島公園内には、昔ながらの露店やアトラクションが祭りを盛り上げます。期間中1日限定ですが、お祭りのひとやすみに中島公園近くで「ほっとCafe」を開催します。

今回のテーマは、父の日前日「お父さんの好きなこと de 交流会!」です。詳しくは、同封の資料をごらんください!

**日時** 6月14日(土) 10:00 ~ 15:00  
**場所** 市民活動プラザ星園 1階交流スペース  
(中央区南8条西2丁目)  
**交通** 地下鉄南北線「中島公園」駅 徒歩6分  
地下鉄東豊線「豊水すすきの」駅 徒歩7分

## 札幌市と北海道 行政の支援事業

皆さまのお手元に、毎月一度、2つの情報紙が届いていると思います。ひとつは本紙「ココサポだより(ほっとニュース)」そしてもうひとつは「からの団体が発行しています。が、どういふしくみなのか少し触れておきます。私たち、北海道NPO被災者支援ネットは札幌市から事業を受託して

### 北海道

#### 北海道広域避難 アシスト協会

- ・情報紙「からから」
- ・交流の場「サロン・ド・からから」
- ・戸別訪問

☎ 011-826-4098

### 札幌市

#### 北海道NPO 被災者支援ネット

- ・情報紙「ココサポだより」
- ・市内ネットワークづくり「ココサポ情報」の提供
- ・被災者支援団体等の活動支援 ほか

☎ 011-552-5900

ます。そして、「からから」を発行しているのは「一般社団法人 北海道広域避難アシスト協会」で、北海道から事業を受託しています。私たちは札幌市内を対象とし、アシスト協会は北海道全域が対象で、上記のようにそれぞれ業務の内容は異なります。いろいろな情報、さまざまな支援団体や当事者団体がある中で「あれ、これはどこに連絡すればよかったのかしら...?」と迷ったり、困った時はいつでもご連絡ください。

## 子育て世帯を対象とした 市営住宅が誕生

札幌市では子育て世帯を対象とした市営住宅の整備を進めており、そのうち一棟が10月下旬に完成する予定です。

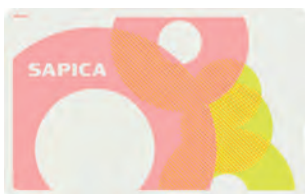
**場所** 東区東雁来

**特徴** 床材や引き戸に安全に配慮した軟らかい素材を使用。敷地の中央に広場を設け、集会所で子育てサロンを開催予定。

**対象** 市内に居住か通勤し、世帯の所得が一定額以下で、かつ、小学校就学前の子どもと同居する等の要件を満たす方  
**申込方法** 6月2日から区役所等で配布する申込用紙を、6月10日までに住宅管理公社へ。

## 共通ウィズユーカード販売終了

「共通ウィズユーカード」の発売が5月末で終了します。(購入したカードは来年の平成27年3月末まで利用できます)ウィズユーカードは使い捨てです。そのため毎年約千万枚、約15トンものごみ(燃やせるごみ)が出ます。さらに繰り返し使える「サピカ」に移行することで、カードの作成費用も削減できます。なお、前回ご案内した敬老優待乗車証は有効期間内利用することができます。



※詳しくは広報さっぽろ5月号、又は、札幌市のホームページへ。

「支援ってなんだ？」もつと知りたい・・・だから、

はなしもききにいらってききました！

その二 北の里浜 花のかけはしネットワーク 鈴木玲さん



「僕らがやっていることは、全然『支援』というニュアンスのことではないんです。いっしょに戻そうよ、ということなんです。」

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた海岸。「そこにもともと植生していた海浜植物を元に戻したい」と、鈴木玲さんが思った時、海岸線では防潮堤と海岸林づくりのための盛土の工事が進み、そこに戻りつつあった自然環境まで壊してしまっている現状がありました。それは、かつて奥尻島の津波のあとに起きたことと同じ状況でした。「少しでも、今、残っている海浜植物がなくならないように、種から育て、元の場所に戻せないか？」そこで鈴木さんは北海道の仲間たちに声をかけ、今年の3月に「北の里浜 花のかけはしネットワーク」を立ち上げました。



今残っている海浜植物の種子を拾い集め、北海道で大切に育て再び現地に戻す。そうすることで、海浜植物を守るだけでなく、北海道と被災地の間での人と人の交流が生まれ、災害や被災地のことを知り、学ぶこともできます。そし

て、多くの人が関わることで「人から人への語り伝え」にもつながります。

現在、活動に参加・協力している人たちは、道内・被災地合わせてざっと100名はいるとのこと。その中には、同じように「海浜植物を守りたい」という思いの、



2014.5.18 札幌でハマヒルガオ、ハマニガナ、ハマボウフウの種まきをしました。

宮城県の仙台、巨理、釜石、名取の人たちがいます。巨理の方は「もう、『支援』と言っつのはやめましょう」としきりに仰おっしゃっていたそうです。「これからは、学び合い、ということにしませんか？」

と。ともに学び合い、つくりあげてゆく仲間たち、ということです。「学ぶことは本当にたくさんあって、災害にかぎらず、少子高齢化についても自分たちが目の前にしてほったらかしていることってたくさんありますよね。学ぶことばっかりです。」

それでも、被災地へ行くと「忘れないでいること、北海道からわざわざ来てくれることだけで嬉しい」という声を聞くそうです。学び合いをすることが、被災地の人の支えになり、その「ありがとつ」の声こえつえが活動の支えにもなる。「支援」が「支えあい」にかわってゆくことを感じるおはなしでした。



皆さまからのメッセージを掲載する「声こえつえ」—多くの人の声。それぞれの声。—の意味。避難されている方も支援されている方も、お気軽に声をお寄せください。今回はスタッフ（福島から避難）から…。

以前から、情報紙を含めいろんなところから封筒が届くたび、「そんなにあちこちで自分の個人情報を出したかな」と思っていました。実は次のようなシステムがあることを、みなさんにご存知でしたか？

総務省が行なっている「全国避難者情報システム」というものがあります。このシステム、北海道では「ふるさとネット」という名前で運用されています。

このシステムの目的は、避難元の県や市町村が、避難した人達の避難先所在地等の情報を把握することです。そして、このシステムに任意で登録することで、避難元や避難先から様々な情報提供が行われます。

北海道に来た時、区役所の被災者窓口や住宅の手続きをする際に「ふるさとネット」の登録用紙や札幌市のアンケートがあったはず。そのアンケートで「札幌市役所からの支援の案内を希望する」という項目に丸をつけた方に、「ほつとニュース」が送られていました（当時バタバタしていた為か、この用紙に記入した記憶はないのですが）。避難にはいろんなタイプがある為、違うパターンもあると思いますが、ひとつお分かりいただけただけではないかと思えます。

# ココサポ情報

ココでもサポート  
ココはさっぽろ

2014年5月1日訪問

街かど何でも相談、札幌型協働生活事業  
NPO法人RSジンジャー

## すけっとハウス

管理者 高柳 美代子さん

地域の「課題」を地域の「宝」へ  
大きなトラブルになる前に小さな悩みを解決します！

### ・プロボノ・カフェ（地域食堂）

専門家がボランティアで困りごとの相談にのることを「プロボノ」と呼びます。「すけっとハウス」では介護、年金、法律、医療、経理など幅広い分野の専門家による「プロボノ」を実施します。また、素材にこだわったワンコインランチも実施中！

### ・子育て

**就労** 仕事が見たい子育て中のお母さんの就労準備を応援します。たとえば、得意なことを生かして障がい者支援をしたり…。

**相談** 子育ての心配・悩みの相談も受けます。時には、先輩ママの経験を聞いて安心することも。

**一時預かり** ちょっと用事で出かけた時、託児ルームでボランティアさんがみてくれます。

### ・ケアマネージャーへの相談

家族の介護の相談など、ケアマネが対応します。

### ・生活支援（地域限定）

生活の中でお困りの事をお手伝いします。

「ココサポ情報」では、震災に関わりなく、もともと市民や地域住民に向けて、様々なサポートやサービスの場を提供している方々をご紹介します。

ご紹介するところには、北海道NPO被災者支援ネットのスタッフが訪問しています。

空き店舗をコミュニティの場・就労継続支援 A 型の作業所として2012年10月1日オープン。プロボノ・カフェ「すけっとハウス」として活用しています。



カフェと託児ルームが併設される中で、障がいを持つ方のハンドメイド品の販売も行っています。かわいい赤ちゃんの声が癒やしになる、とてもあたたかな空間です。

管理者の高柳さんはケアマネージャーなどの資格を持ち、穏やかにいろいろな話を聞いてくれます。「子どもは乳幼児期に家族の深い愛情を注が



れる事が大切。だから少しでもお母さんの子育てを支援し、すべての子どもにしあわせになってほしい」という思いから育児相談や一時預かりを行っています。

障がいを持つ方などの就労は「個々の優れている能力を引き出し、磨き、将来的には就労へと繋がりたい」とたくさんの夢を語っていただきました。

## 街かど何でも相談 すけっとハウス

住所 豊平区平岸3条3丁目1-16

TEL/FAX 011-598-0755

E-mail info@rs-ginger.org

営業 平日9:00～16:00（土曜15:00）

「札幌十区」は、札幌の各区を紹介するコーナーです。今回は白石区出身「ペンネーム デンデンさん」からお寄せいただいた白石区の情報です。

## 札幌十区

「白石には区を縦断できるサイクリングロード※1があります。コンベンションセンターからスタートし、厚別川にかかっている虹の橋まで続いています。私が小学生の頃、このサイクリングロードには線路が通っていて、踏切のない線路を横切り、近道をして登校していました。

地下鉄「東札幌」駅からダイエー側の交差点に向かうと、なんだか甘い香りがしてきます。「ミルクカステラ※2」の製造元「島川製菓」の工場があるからです。工場の事務所では小売りもしていて、カットしたときの切れ端などが低価格にて販売されています。

そして、菊水には国内でも珍しい円形歩道橋※3があります。」

※1このサイクリングロードは旧国鉄千歳線の線路跡に作られました。厚別区を抜け、JR北広島駅まで全長約20kmです。※2道民のソウルフードとも呼ばれるミルクカステラは道産の小麦粉・鶏卵・砂糖で作られています。震災時、被災地に送られていたこともありました。※3この「菊水歩道橋」は国内初の円形歩道橋。一周約176mもあります。



しろっぴー



白石区

# Sapporo くらしの雑記帳

その七十  
「世界への挑戦」

北海道は鮮やかな色彩に満ちています。冬の雪の白。少し遅い春の桜の桃色。初夏の新緑のきみどり。そして続くのが青。そう、サムライブルーの青です。やってきましたサッカーW杯。日本が世界に挑戦する時なのです。



少し強引な入り方でしたが、4年に一度の世界の頂点を極める大会が6月12日から約一ヶ月間開催されます。開催地は地球の反対側ブラジルです。年々レベルアップしてきた日本代表。今では海外のチームで活躍する選手が、代表の約半分を占めるようになりました。

そんな日本代表の主力選手、まずはACミランという世界屈指のイタリアのチームに、背番号10番で加入したことで有名になった本田圭佑選手。「トップ下」と言われるフォワードのすぐ後ろのポジションで絶妙なパスを出し、自分でもどんどんゴール

を決めてくれるのは間違いありません。実質的にキャプテンのような存在でチームに底力を与えてくれています。

守りの要ゴールキーパーの川島永嗣選手。試合後のインタビューでは常に怒っています。顔が。でも優しい人なんです。

震災後のベルギーでの試合。試合中に相手サポーターが「カワシマフクシマ」という野次を飛ばしたことにに対し猛抗議、試合を一時止めるという事件もありました。(野次の意味はよく分かりませんが、原発事故の悪いイメージと結びつけたようです。) そんな熱い男はどんなシュートも跳ね返すに違いありません!

## 福島県の海

沿いに「Jヴィレッジ」という施設がありました。日本のサッカーをレベルアップするべく作られた施設には、サッカー場が何面



もあつたり、宿泊施設やレストランも備える立派なものでした。現在は原発事故処理の基地として使用されています。

美しかった緑の芝は駐車場と化してしまっているのが腹立たしいですが、過去に日本代表が合宿を行っていた時には、練習試合を見に行つたこともありました。中田英寿選手らを双眼鏡で見つけては「生中田だ」と喜んでいたので覚えています。ちなみに練習試合の相手は地元の高校生で、20点くらい入れていたのは大人げなかったなあ。

Jヴィレッジは東京オリンピックピックの練習場として復活する計画だということです。(事故処理の早期安定及び早期除染も含めて期待しましょう。そして応援しましょう、ザックジャパンいざブラジルへ!世界の頂点に近づけ!

by  
S.S.

## ココサポ川柳



恐妻が大震災後 慈母観音 (若手 男性)

月は欠け 闇に消えても また満ちる (長い坂道の途中)

「ココサポ川柳」では、皆さまからの投稿をお待ちしています。

ふと、浮かんだ五・七・五...ペンネームを添えて支援ネットに伝えてください。無記名の場合は「詠み人知らず」で掲載します。投稿は下記まで郵送・ファックス・メールにてお送りください。

「ココサポだより」への投稿、ご相談・ご要望はこちらまで。

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目  
市民活動プラザ星園 201

発行 札幌市東日本大震災被災者支援事業受託者  
北海道NPO被災者支援ネット

TEL&FAX 011-552-5900  
E-mail kitanpo@gmail.com

